

公平ってどんなこと？

中学校1年生

I アクティビティについて

ねらい

身近にある様々な具体的状況を、公平・公正の視点から判断し、討議する活動を通して、公平・公正についての感覚や認識を深めさせるとともに、それらを尊重し、実現させようとする態度を育てる。

◆◆◆視点◆◆◆

- ◎公平・公正
- コミュニケーション能力
- 人間の尊厳・価値の尊重

設定の理由

この時期の生徒は、知識としては公平・公正の大切さを理解しているものの、実際の場面で物事を判断するとき、ともすると自分に有利か、不利かという基準で判断する傾向が見受けられる。

そこで、他の人々との関係や社会に現存する様々な問題状況について、自分の感覚や知性を働かせながら考え、議論させる活動を通して、公平・公正の大切さを理解し、実現しようとする態度を育成したい。

アクティビティの概要 (1時間扱い)

活動1 「状況カード」を分類しよう。
・グループごとに「状況カード」を「不公平だと思う状況」、「公平だと思う状況」に分類し、何が「公平」で何が「不公平」かを具体的事例を通して考える。

活動2 分類した理由を考え、話し合う。

活動3 ふり返って話し合う。

アクティビティーの実際

- 準備するもの
 - ・状況カード（グループ数分）
 - ・感想、ふり返し用紙（人数分）
 - ・状況カード分類用・対応方策発表用の大きめの用紙各1枚（グループ分）
 - ・個人用カードまたは付箋紙（人数分以上）
 - ・マジック（グループ数分）

□ アクティビティーの進め方

活動1 「状況カード」の分類

- ① 静かに話しかけ、落ち着いた雰囲気をつくり出す。
- ② 各グループ毎に「状況カード」を配布し、教師が一枚ずつ読み上げる。
 - ・「状況カード」に書かれていることは「不公平だと思う状況」か、「公平だと思う状況」か、「どちらともいえない状況」か。教師が読み上げた事例を聞いて、まずは自分で考える。
- ③ それぞれのカードに書かれている状況をグループ毎に話し合い、「不公平だと思う状況」、「公平だと思う状況」に分類する。また、どうしても判断がつかなかったものは、「どちらとも言えない」とし、最後に分類する。
- ④ 教師はグループを回りながら、支援を行う。
- ⑤ グループで分類した結果を大きめの用紙に分類して貼り、結果を黒板に掲示し、発表する。
- ⑥ 結果について、全体で感想を発表し合う。

活動2 分類した理由を考え、話し合う

- ① 「不公平だと思う状況」と考えた理由、「公平だと思う状況」と考えた理由、「どちらともいえない」と考えた理由をグループごとに考え、話し合う。
- ② 次に「不公平だと思う状況」「公平だと思う状況」それぞれに共通する特徴は何かを考え、話し合う。
- ③ グループで話し合われた意見を大きめの用紙に貼り、発表用紙を作る。
- ④ グループ毎に発表する。

活動3 ふり返り

- ① ふり返りシートに、話し合いと発表の感想を記入する。
- ② 感想を発表し合い、意見を共有する。

<ふり返りの留意点と発問例>

- 「状況カード」の分類をやって感じたことを発表させる。その際、教師が公平・公正について考える等の誘導はしないようにする。また、生徒から公平・公正についての感想が出てきたら、教師は、その感想を繰り返し、認めるようにする。

発問例

今日の活動を通して、どんなことを感じましたか。

アクティビティを指導するポイント

- ◇ 「状況カード」は学級の実態に合わせて何枚かを選択したり、新しく付け加えたりする。
- ◇ グループは、生活班など学級の実態に合わせて編成する。(4～7人程度)
- ◇ このアクティビティは、人権感覚を磨くことの大切さや人権を尊重することに気づくことがねらいなので、教師自身の考えを押しついたり、参加者全員の考えが同じになるように、説得してはならない。
- ◇ 状況カードの中には、法律や制度にかかわる内容が含まれているが、いったんできたものは改められない絶対的なものとするのか、望ましい社会をつくるためにはどうしていけばよいのかなどについても考えさせられるとよい。

Ⅱ 授業展開例

～中学校1学年「学級活動」における授業展開例～

時	学 習 活 動	教 師 の 働 き か け
1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 公平とはどんなことか考えよう。 </div>	
	1 活動のやり方の説明を聞く。	○教師はグループを回りながら、支援を行う。
	2 グループごとに「状況カード」をそれぞれ「不公平だと思う状況」、「公平だと思う状況」に分類し、発表する。	○グループごとに「状況カード」を分類させる。
	3 分類した理由を考え、話し合う。	○「不公平だと思う状況」と考えた理由、「公平だと思う状況」と考えた理由、「どちらともいえない」と考えた理由をグループごとに考え、話し合わせる。
	4 発表用紙を黒板に貼り、分類した理由を発表する。	○「状況カード」を分類した理由を発表させる。
	5 「不公平だと思う状況」「公平だと思う状況」、それぞれに共通する特徴を考え、話し合う。	○「不公平だと思う状況」「公平だと思う状況」、それぞれに共通する特徴を考え、話し合う。
	6 今日の授業の感想を記入し、数名が発表する。 7 学習のまとめをする。	○生徒の感想の中から、公平・公正に関わる考えを中心にまとめる。

Ⅲ 資 料

(1) 状況カードの例

(使用するカードは、実態に合わせて選択したり、付け加えたりする。)

<p>状況1 ユカは、昼休みにサッカーをして遊びたいのですが、男子はユカが女子だからという理由で、仲間に入れてくれません。</p>	<p>状況2 トシはいつも宿題をしないで学校に行きません。今日、先生はトシに放課後、居残りをさせて宿題をやらせました。</p>
<p>状況3 あなたは、誕生日におばあさんからお小遣いをもらいました。あなたはそれでゲームソフトを買おうとしましたが、お父さんは「ゲームはよくない。」と言って買うのを許してくれません。</p>	<p>状況4 高校入試で、タローは成績が良かったので合格しましたが、成績が悪くなかったジローは不合格になりました。</p>
<p>状況5 夏休みに温泉旅行に行ったら、浴場が男湯は広く、女湯は狭かったです。</p>	<p>状況6 ハナコの家では、食事の用意を兄には頼みませんが、妹のハナコには頼みます。</p>
<p>状況7 授業で使う道具を教室に運ぶとき、先生は道具が重いので係の女子ではなく別の男子に頼みました。</p>	<p>状況8 A銀行では、社員が管理職になる確率が、大学卒と高校卒とではかなりの差があります。</p>
<p>状況9 あるパーティーで、豚肉料理が出されましたが、豚肉が食べられないイスラム教徒のジムには違う料理が出されました。</p>	<p>状況10 ヤンの国では戦争が始まりました。危険なので家の外に出ることもなかなかできず、勉強をしたくても学校へ行くことができません。</p>

(2) ワークシート例

ふり返りシート

公平ってどんなこと？

- | | | | | | |
|---|--|----|----|-----|-----|
| 1 | 今日の授業は楽しかったですか？ | はい | 少し | あまり | いいえ |
| | | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2 | グループの話し合いで、自分の意見をは
ずかしがらずに言えましたか？ | はい | 少し | あまり | いいえ |
| | | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3 | グループの話し合いで、友だちの話を真
剣に聞くことができましたか？ | はい | 少し | あまり | いいえ |
| | | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 全体の話し合いで、他のグループの意見
を真剣に聞くことができましたか？ | はい | 少し | あまり | いいえ |
| | | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5 | 今日の授業で感じたことを書いてみましょう。 | | | | |

_____年_____組 氏名_____